

桐蔭は、自ら人生を切り拓く人を育てます!

開設されて14年目となる桐蔭中学校は、明治12年(1879年)、和歌山県初の県立中学校として設立された旧制和歌山中学校の流れを受け継いでいます。桐蔭では中学校から高等学校へつながる6年間に『自ら人生を切り拓く人を育てる』という教育指針の下、一人一人の能力を高める密度の濃い教育活動を行っています。

人工知能(AI)などの技術の急速な発展に伴うSociety5.0といった新たな社会が到来する中で、必要となる力は、主体的な学びによって培われる思考力・判断力・表現力です。この主体性とは、学習だけでなく学校行事や部活動・生徒会活動などを通して桐蔭にDNAとして継承されているものであり、本校の特色ともなっています。

また本校の立地する地域は和歌山市の中心地で文教地区でもあり、博物館施設等、様々な学びの環境が整っており、放課後等の課外活動にも最大限に活かすことができます。

これらの恵まれた環境の下、高い志を持ちながら互いに切磋琢磨しあい、充実した学生生活を送ろうと考えている皆さんを、桐蔭はお待ちしております。

和歌山県立桐蔭中学校
校長 木皮 享



桐蔭中学生が大きく成長する桐蔭中高一貫教育の仕組み

「私たちはなぜ学ぶのか?」「学ぶことの本質的な楽しさとは?」「今学んでいることは将来どのように役に立つのか?」これらの問いに対し、桐蔭中学校でのキャリア教育や学校独自教科「桐蔭キュリオ」、質・量ともに充実した教科の学習等を通して、桐蔭中学生は真正面から向き合い、考えを深めます。このようにして、桐蔭中学校の特色ある学びで得た専門的な知識・技能や興味関心は、その人の「学問的個性の芽」といえます。それを、発芽させ、大きく成長させる仕組みが、桐蔭の中高一貫教育です。

1 知的好奇心を高める桐蔭中学校の学び

- ※教科の学習が質・量ともに充実(深く学ぶ)
- ※自らの在り方・生き方に迫るキャリア教育
- ※桐蔭中学校独自の教科「桐蔭キュリオ」
- ※本物に触れ体験する学習

2 桐蔭高校「新たな普通科」の教育システム

- ※1年から、これまでの数理科学科で培ってきた理数教育と人文系の教育を選択できる
- ※2年次以降の進路希望や習熟度に応じた学習集団編成

3 優れた能力を有する仲間との切磋琢磨

- ※勉強は無論、スポーツや文化面において優れた能力を有する生徒が集うのが桐蔭
- ※その仲間とともに、勉強・部活動・行事に全力を傾けることによる、人間的な成長

4 桐蔭中学校出身生は桐蔭を熟知し、高校生活を堂々と過ごす

- ※桐蔭祭をはじめとする学校行事の雰囲気慣れており、リーダーとして活躍
- ※グループ学習、発表などのスキルが高く、授業で活躍
- ※高校の部活動や生徒会活動では中心となって活躍

